

## 第 35 回一宮市新型コロナウイルス感染症対策本部会議 議事録

令和 4 年 3 月 18 日（金）午後 4 時

### <総合政策部長>

3 月 17 日に発表された市内の陽性者数は 131 人であり、愛知県内では 2,783 人（うち名古屋市 975 人）であった。3 月に入り減少局面に入っているが、高止まりとも見える状況にあり、警戒を緩めることはできない。

3 月 16 日現在の県の資料によれば、国の基準でいうレベル 3 を超えているが、単日の入院患者数、病床使用率、新規感染者数いずれも減少傾向が見られることから、今後さらに漸減していくと見込まれる。

この状況の中、政府は愛知県を含む 18 都道府県に対し、3 月 21 日をもっての「まん延防止等重点措置」の一斉解除を決定した。これを受けて愛知県は、県全体を「厳重警戒」措置区域とし、引き続き感染対策を継続する予定。

主な変更内容としては、飲食店やカラオケ店等への規制緩和、飲食時の人数制限の緩和が挙げられる。

### <保健所次長（保健所長代理）>

市内の新規陽性者数は、第 6 波のピークと比較して約半分まで減っているが、第 5 波のピークと比べると 2 倍近くの数値であるため、収束にはまだ時間がかかる模様。

濃厚接触者の検査について、個人に対しては「陽性者と同居・重症化リスクを保有・無症状」である場合に限定しているため、対象は主に保育園・幼稚園・福祉施設等における検査となるが、陽性率は下がってきている。

陽性者のうちのワクチンの接種状況（60 歳以上）について、1 回以上接種した割合は 77.6%であり、ワクチン接種後も油断できないということがわかる。

### <危機管理課長>

「厳重警戒」に関する市民への周知として、尾張一宮駅の一宮七夕ビジョンデータの更新、および市の各部署における注意喚起の掲示物の切替えを実施する。

公共施設の多くは通常運営となるが、バーベキュー場などの一部の施設では利用制限を行う。

イベントについても原則として予定通り実施するが、健康づくり関連の教室・講座においては利用者数の制限を行う。

本件については、本日（3 月 18 日（金））中に報道発表を行う。

<市長>

本日の報道発表資料の中に「公立保育所の感染症への対応方針の見直し」が含まれるので、施設の対応として重ねて周知するように。

<副市長>

保健所における1人あたりの平均の時間外労働時間が上限に近づいているので、業務状況を見ながらではあるが、増員については躊躇なく要請されたい。

<市民健康部長>

3回目のワクチン接種率は、65歳以上では81.0%で、18歳以上では39.4%となっている。

5歳～11歳を対象としたワクチン接種については、3月14日に接種券が届くよう発送した。今後は、複数の医療機関において順次接種が可能となるので、状況を注視していく。

また、4月以降に始まる、12歳～17歳を対象とした3回目のワクチン接種についても準備を進めている。

<市長>

政府では、年金生活者へ5,000円を給付する案が出てきている。実務を担う市においては、過去の給付金等における対応を参考に、アンテナを高く張り、綿密にシミュレーションを重ね、迅速に対応できるよう準備を進めていくこと。

人事異動の時期を迎えている。市民に貢献する強い組織であるために、蓄積した知見・知識を、各人がしっかり共有し、発揮されたい。